

6. 歓迎レセプション



スワン市長を始めとする24名の皆さんを歓迎するレセプションが、いきがい創造センターホールで開催されました。調理では稲美町いずみ会・JA兵庫南女性会、演奏では兵庫稲美少年少女合唱団の皆さんにご協力いただき、手作りのレセプションが開催されました。



4. 中学生との交流

新学期早々で大変忙しい時期だったにもかかわらず、稲美北中学校の皆さんにご協力いただき、充実した交流会ができました。様々な質問が互いから出てくるなど、有意義な時間を過ごしました。

2. そば打ち体験



いきがい創造センターのワーキングスペースで、印南野そば倶楽部の皆さんにご協力をいただき、そばを打ってもらいました。ポウイ君も手ほどきを受けながら、上手に生地を広げていました。

主なスケジュール

4月14日(金)

- 1. 歓迎式
- 2. そば打ち体験&昼食
- 3. 町内見学(さくらの森公園他)
- 4. 生徒 中学校交流
- 5. 行政関係 お茶席(野だて)・資料館見学

4月15日(土)

- 6. 歓迎レセプション

4月16日(日)

- 7. お別れ

※ 今回、全てのスケジュールにおいて、理事をはじめ多くの通訳ボランティアの方々にご活躍いただきました。

また、今後、こうした通訳を要する機会も増えてくると考えており、皆さんから通訳ボランティアでの登録もお待ちしています。

詳しくは、稲美町国際交流協会事務局までお問い合わせください。



7. お別れ

それぞれの文化だけでなく、言葉の理解にも力を注いだ3日間。短い滞在期間ではありましたが、ホストファミリーとガバナースターリン高校の学生は、再会を誓いあいながら別れを惜しましました。

5. お茶席(野だて)



しだれ桜が満開に咲き誇る万葉の森では、ゆったりとした時間が流れるなかで、野だてを体験していただきました。また、バーバラ副市長夫人もお点前に挑戦され、皆さんにお茶を振る舞われました。

3. 町内見学(さくらの森公園)



桜が満開で、散った桜の花びらが、まるでじゅうたんを敷き詰めたようでした。高校生は無邪気に花びらを拾って投げあい、幻想的な光景が映し出されました。

4/29(土) 異文化理解講座

「中国あれこれ!日中の日常生活の相違点に迫る!」

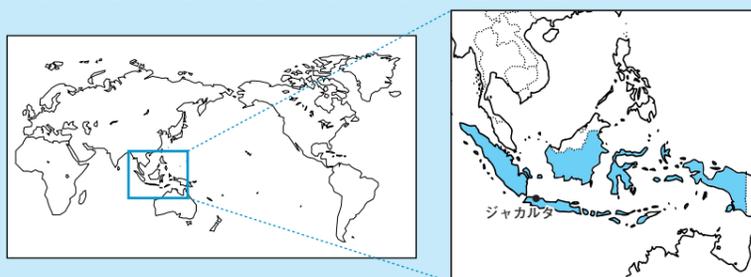
総会に続き、彭飛先生(京都外国語大学教授)を講師にお招きし、異文化理解講座を開催しました。

参加者は、中国の最新社会情勢に熱心に耳を傾けるとともに、「在住外国人が年々増えてきているこれからの多文化共生社会において、どのような付き合い方をしていくかが、今後新たに直面する地域の課題だ」とおっしゃられる先生の言葉に、真剣な面持ちで聞き入っていました。



▲講演に耳をかたむける参加者

インドネシアってどんな国?



正式名	インドネシア共和国 (Republic of Indonesia)
面積	189万平方キロ(日本の約5倍)
人口	約2.17億人
首都	ジャカルタ
主な人種	マレー系(ジャワ、スンダ等27種族に大別)
公用語	インドネシア語
宗教	イスラム教(87%)・キリスト教(10%)・ヒンズー教(2%)
通貨	ルピア (IDR)

4/23(日) ふれあいまつり

稲美町で研修中のインドネシアの方に協力いただき、インドネシアの家庭料理(ココナッツ風味ごはんやテンペのお惣菜など)を作ってもらい、販売しました。

インドネシアの方は手際も良く、本当にやさしく思いやりのある好青年です。「ナシドック」は日本人の口にもよく合い、一時は長蛇の列が出来た程でした。



▲インドネシア料理を販売

2/19(日) 神秘の国「インドのヨガ体験」

アルジャン・グプタ氏を招き、インドの生活、文化、考え方についての講演と、ヨガを教えていただきました。とても好評で、ヨガを通じて国際交流が体験できたようです。

<感想>

- 「呼吸法」(ゆっくりはいて、ゆっくり吸う)がよくわかり、体がとても楽になりました。
- 異国の文化がわかり、インドに興味がわきました。
- 非常に有意義な講座でした。今後、国際交流について理解を深めていきたい。
- ヨガ体験すばらしかった。又、やってみたい。



▲ヨガを体験中の参加者